

放射能関係のお知らせ

2019年2月4回(D週)

お届け日:2019/2/25~3/1
発行日:2019/2/11



本誌は、カタログ掲載の青果について、2019/2/6(水)までの放射能自主検査の結果をお伝えしています。

●青果 放射能が検出されていない産地(セシウム 134,137 それぞれ 3Bq/kg 以下)

分類	品目名	放射能検査の状況
果物	いちご	品目で検査済 たまつくり・はが野・とちのみ・うつのみや・佐原・遠州
	キウイ	品目で検査済 有機農法ギルド・小田原・やはた会・久望
	不知火	柑橘類で検査済 久望
	ネーブル	柑橘類で検査済 小田原
	はっさく	品目で検査済 小田原
	はるみ	品目で検査済 小田原・久望
	りんご	品目で検査済 八峰園・ゴールド農園・雄勝・天童・米沢郷・さみず・青木・サンファーム
果菜	きゅうり	果菜類で検査済 八千代・野菜くらぶ・沃土・村悟空・サンド旭・佐原・和郷
	スナップえんどう	品目で検査済 南伊豆
	トマト	品目で検査済 葉菜野果・にっただみどり・うつのみや・野菜くらぶ 果菜類で検査済 谷田部・元気会・沃土
	ミニトマト	品目で検査済 あゆみの会・野菜くらぶ(福島)・元気会・サンド旭・和郷 果菜類で検査済 八千代・沃土・村悟空
葉菜	アスパラ	品目で検査済 利根沼田 検査予定 さがえ西村山・うつのみや
	大葉	葉菜類で検査済 和郷
	キャベツ	品目で検査済 あいづ・南伊豆・三浦EM 葉菜類で検査済 野菜くらぶ・沃土・村悟空・海上・佐原・和郷・遠州
	小松菜	品目で検査済 谷田部・葉菜野果・群馬・モグラ・佐原・八街・風土の会 葉菜類で検査済 有機農法ギルド・たまつくり・やさと・野菜くらぶ・南埼玉・沃土・和郷
	サニーレタス	葉菜類で検査済 谷田部・八千代・常総産直・野菜くらぶ・沃土・海上・八街・和郷・風土の会
	たらの芽	品目で検査済 丸公
	チンゲン菜	品目で検査済 あゆみの会・和郷・遠州 葉菜類で検査済 こまち・沃土
	菜の花	品目で検査済 小田原 葉菜類で検査済 南伊豆
	にら	品目で検査済 元気会 葉菜類で検査済 葉菜野果・野菜くらぶ・和郷
	ねぎ	品目で検査済 常総・たまつくり・八千代・野菜くらぶ・利根川・南埼玉・沃土・村悟空・佐原 葉菜類で検査済 谷田部・有機農法ギルド・やさと・八街・風土の会
白菜	葉菜類で検査済 谷田部・八千代・常総産直・八街	
ブロッコリー	品目で検査済 谷田部・八千代・野菜くらぶ・南埼玉・海上・村悟空・佐原・和郷 葉菜類で検査済 沃土	
プチヴェール	品目で検査済 庄内たがわ	

分類	品目名	放射能検査の状況
葉菜	ペピーリーフ	品目で検査済 フェニクス・レインボー
	ほうれん草	葉菜類で検査済 谷田部・たまつくり・八千代・常総産直・有機農法ギルド・やさと・野菜くらぶ・利根川・沃土・八街・佐原・和郷・風土の会 検査予定 うつのみや
	みず菜	葉菜類で検査済 谷田部・葉菜野果・佐原
	山うど	葉菜類で検査済 利根沼田
	ルッコラ	葉菜類で検査済 葉菜野果・沃土・南埼玉・和郷
	レタス	品目で検査済 野菜くらぶ・サンド旭 葉菜類で検査済 八千代・常総産直・沃土・南埼玉・海上・佐原
	かぶ	品目で検査済 沃土・海上・八街・佐原 根菜類で検査済 谷田部・たまつくり・和郷
	ごぼう	品目で検査済 谷田部・たまつくり・葉菜野果・やさと・清瀬 根菜類で検査済 常総・有機農法ギルド・和郷・佐原
	さつまいも	品目で検査済 常総・たまつくり・葉菜野果・和郷 根菜類で検査済 谷田部・佐原
	しょうが	品目で検査済 村悟空 根菜類で検査済 和郷
根菜	大根	品目で検査済 和郷・三浦EM 根菜類で検査済 谷田部・たまつくり・沃土・村悟空・佐原・風土の会・海上
	人参	品目で検査済 二本松・常総・有機農法ギルド・あゆみの会・常総産直・清瀬 根菜類で検査済 谷田部・たまつくり・やさと・葉菜野果・沃土・村悟空・和郷・佐原・八街・風土の会・農法の会・海上
	にんにく	品目で検査済 八峰園・田子・ゆうき青森
	ほしいも	品目で検査済 常陸
	れんこん	品目で検査済 有機農法ギルド・たまつくり・新ひたち野・佐原

●きのこ類 放射能が検出されていない産地(3Bq/kg 以下)

品目名	放射能検査の状況
えのき茸	品目で検査済 飯山
エリンギ	品目で検査済 小川きのこ・南伊豆・渡辺きのこ
生きくらげ	品目で検査済 きのこ総研
しめじ(ひらたけ)	品目で検査済 谷田部
とらまき茸	品目で検査済 丸金グループ
なめこ	品目で検査済 谷田部
ぶなしめじ	品目で検査済 谷田部
まいたけ	品目で検査済 ささかみ・雪国
マッシュルーム	品目で検査済 村悟空・三蔵
4種のきのこセット	品目で検査済 谷田部・雪国・丸金グループ *谷田部の生しいたけからは放射能が検出されました

●青果以外の牛乳・牛肉・卵・食肉類および加工品の対象商品はすべて検査をしています。*酒類はみりんと料理酒を検査対象としています。

●検出された商品

品目名	産地名	報告日	セシウム Bq/kg
生しいたけ(原木栽培)	谷田部	2019/2/6	7.1
徳用生しいたけ(原木栽培)			
お料理セットの生しいたけ			
原木しいたけ(はねだし)			
4種のきのこセットのしいたけ			
パルシステムの独自ガイドライン			100
政府の基準値			100

注文番号	商品名	報告日	セシウム Bq/kg
乾物屋 138181	小粒どんこ	2018/7/25	5.1
パルシステムの独自ガイドライン			100
政府の基準値			100

品目名	産地名	報告日	セシウム Bq/kg
栃木こしひかり(玄米)	日本の稲作を守る会	2018/10/17	4.4
パルシステムの独自ガイドライン			25
政府の基準値			100

*白米で検査したところ、不検出でした。

品目名	産地名	報告日	セシウム Bq/kg
れんこん	常総	2018/8/22	6.4
パルシステムの独自ガイドライン			25
政府の基準値			100

注文番号	商品名	報告日	セシウム Bq/kg
コトコ 111368	食べきり寄せ鍋セットのしいたけ	2018/12/4	5.4
きなり 325			
きなりセレクト 341096			
コトコ 344	炒り豆腐セットのしいたけ	2019/2/6	7.1
きなり 322			
パルシステムの独自ガイドライン			100
政府の基準値			100

注文番号	商品名	報告日	セシウム Bq/kg
コトコ 336	冷凍さつまいもスティック	2018/11/6	1.2
yumyum 122611			
yumyum 123366	産直野菜チップス(さつまいも・にんじん)	2018/1/19	1.2
パルシステムの独自ガイドライン			25
政府の基準値			100

●青果の検査分類表

大分類	中分類	代表的な品目名
果実(くだもの)	—	みかん、りんご、いちごなど
果菜	果菜	きゅうり、トマト、なす、オクラなど
	未成熟豆類	枝豆、いんげん、スナップえんどうなど
葉菜	結球性・非結球性葉菜	アスパラ、キャベツ、白菜、ほうれん草、小松菜、ねぎなど
	花蕾・莖菜	ブロッコリーなど
根菜・いも類	根菜	玉ねぎ、人参、しょうがなど
	いも類	さつまいも、里芋など

●青果の検査について

*北海道を除く東日本(新潟県・長野県・静岡県以東の本州17都府県)のカタログ掲載産地において、分類ごとに一品目以上検査をしています。報告の時点で検査が間に合わない品目については、供給前までには放射能検査を実施します。

*旬のある果物などの検査は、シーズンでの収穫の時期のみになります。それ以外はおおよそ半年に1回以上の頻度で検査を行なっています。検査の日付は省略しています。

*検査対象外地域でも放射能検査を実施している場合がありますが、掲載は省略しています。

*yumyum 果物セットにセットされている果物は、検出下限値1Bq/kgで検査を行っています。

海産魚のコモンカスベから 161Bq/kg

2019年1月31日試験操業で福島県広野沖の水深62mで漁獲されたコモンカスベから161ベクレル検出され、コモンカスベを全量出荷停止としました。

県漁連の自主検査でも、1検体から体長47センチ 重さ881gのコモンカスベから156.6Bq/kgが検出されました。

なぜ魚類の検出は少ないのか

原発事故の際に拡散された放射能の7割が海洋に流れ、汚染水や河川などから放射能は海洋に流れ込んでいます

にもかかわらず、水産品からの放射能の検出は地上の産物であるしいたけなどに比べて多くありません。

この点について、チェルノブイリ救援基金・中部の河田昌東氏より、「魚の胃液は人間とは違って、アルカリ性だから」と説明いただきました。

セシウムやストロンチウムは、水に溶けやすく、特に、塩水や酢水に溶けやすい性質があります。食品中のセシウムを除去するのにも、酢水や塩水にさらすことを推奨しています。

「魚類内臓プロテアーゼに関する研究」(藤井実氏)で確認すると、古いデータですが、消化液はpH7.4~8.2であり、人のpH2~4の胃液に比べて、中性からややアルカリ性であることがわかりました。

チェルノブイリの事故の際にも問題になり、その点を研究した人がいたということでした。

行政検査の検出情報

- 厚生労働省発表「食品中の放射性物質の検査結果について(第1096)」(2018/6/18~2018/8/10で採取・購入された検体検査)より国の定めた基準セシウム合計100Bq/kg以上で検出された検体です。

イノシシ肉: 栃木県那珂川町 110 Bq/kg

国の定めた基準セシウム合計100Bq/kg未満で検出された検体の上位数件です。

しいたけ(原木): 栃木県鹿沼市 35~52Bq/kg
 イワナ: 宮城県栗原市栗駒(三迫川支流水系)ほか 6.95~40.4Bq/kg
 イノシシ肉: 栃木県茂木町・益子町ほか 2.6~80Bq/kg

- 福島県の緊急調査で国の定めた基準セシウム合計100Bq/kgで検出された検体の上位数件です。

チチタケ: 福島県南会津町 54Bq/kg
 イワナ: 福島二本松市(阿武隈川水系) 19~46Bq/kg
 ウナギ: 福島県福島市(阿武隈川) 23Bq/kg
 イワナ: 福島県伊達市布川(阿武隈川水系) 7.9~61Bq/kg

山のほとんどが除染を行っていないため、放射能の減衰が自然の状態に任されています。集積しているところと少なくなっているところとがありますが、状況はきちんと把握できていません。

放射能を多く含んだ食品を、知らず知らずに口にしている可能性があります。検査されず、流通している商品が今では多くなっていますので、検査をしているものを選ぶことをお勧めします。

栽培管理を行っていない山で採取した山菜や検査を行っていない山菜は放射能が心配されます。山菜は十分に注意をしましょう。また、ジビエや天然淡水魚も注意が必要です。

1月の放射能検査状況

1月の検査は、しいたけより生しいたけ4件(8.2, 8.6, 14, 22Bq/kg)が検出されました。その他に検出された食品はありませんでした。

放射能検査の状況(検査件数、かつこ内は検出数、網がけは検出された分類)

	1月	検出状況	1月
青果	10(0)		卵 42(0)
しいたけ	4(4)	生しいたけ 8.2, 8.6, 14, 22 Bq/kg	魚介類 27(0)
その他のきのこ類	7(0)		飲料水・飲料 13(0)
米・米飯類	0(0)		乳幼児用食品 28(0)
牛乳・乳製品	11(0)		その他加工食品 137(0)
肉類	0(0)		合計 279(4)

2018年度の放射能検査の状況(2018年4月~)

青果	常総センターのれんこんより1件(6.4Bq/kg)で自主基準内の検出がありました。
しいたけ、他のきのこ	生しいたけより(5.3~22Bq/kg)で自主基準内の検出がありました。他のきのこ類は放射能不検出です。
米	2018年産米は、8月よりJA君津の千葉ふさおとめから検査が始まり、いままでJA君津、JA魚沼みなみ、JAささかみ、JAつくば市谷田部、JAこまち、JA北蒲みなみ、オーリア21、JAえちご上越、JA庄内たがわ、JAみどりの、JA津軽みらい、南埼玉、JA山形おきたま、JA秋田ふるさと、JAいわて花巻、庄内協同、JA会津よつば、JA佐渡、花咲農園、健診の郷の産地で検査が終了し、不検出でした。栃木の日本の稲作を守る会より2件玄米で検査を行い1件(4.4Bq/kg)自主基準内で検出されました。白米にして検査を行ったところ、不検出でした。米は白米で供給します。 重点産地については各産地より複数の検体を検査を行います。それ以外の産直産地については、一産地一検体で検査を行います。複数の銘柄を出荷している場合でも、一検体となります。
牛乳、肉	産地ごとに定期的に検査し今年度放射能は検出されていません。
卵	今年度はまだ検査を行っておりません。
魚介類	魚介類で放射能は検出されていません。
乳幼児用食品	検出下限値1Bq/kgで検査を行っております。冷凍さつまいもスティックより1件(1.2Bq/kg)が自主基準内で検出されました。2017年度に産直野菜チップス(さつまいも・にんじん)より1件(1.2Bq/kg)が自主基準内で検出されました。まだ、今年度は検査を行っておりません。
その他加工食品	<お料理セット> 野菜と肉を含めて毎月各メーカーごとに1検体の検査を行っていません。2017年よりyumyumでの掲載が開始され、検出下限値は1Bq/kgで行っています。菌茸類については毎週検査を行っており、しいたけ(4.3, 5.4, 8.2Bq/kg)から自主基準内ですが検出しています。その他の菌茸類からの検出はありません。 <大豆加工品> 豆腐、納豆、味噌、醤油など大豆加工品は、原料で検査を行っているものと、製品で検査をおこなっているものがありますが、放射能は検出されていません。 <乾物> 2018年7月に岩手県産乾燥しいたけ(5.1Bq/kg)から自主基準内で検出がありました。 <その他> 2017年度にサプリメントのブルーベリー&ルテイン(8.2Bq/kg)から自主基準内で検出がありました。2018年度の検査では不検出でした。

パルシステムの放射能検査について

●検出限界について

高性能に放射能を計測できるゲルマニウム半導体検出器を2台導入して計測しています。yumyumおよび赤ちゃん&KidsのOK食品としている乳幼児用食品については、検出下限値を1Bq/kgまで検査しております。

検出限界(セシウム 134, 137 それぞれ)		
2016年4月1日から新基準に変更	新	旧
乳幼児用食品	1	3
水、飲料、牛乳、乳製品、米、青果類、肉類、卵、魚介類、その他食品	3	3

●放射能検査の対象範囲について

農畜産物とその加工品	北海道を除く東日本産(新潟・長野・静岡以東の本州産)
水産物とその加工品	日本沿岸・近海・一部の北太平洋・淡水産水産物

●独自ガイドライン(自主基準)と検出限界について

パルシステムでは食品の残留放射能について独自ガイドライン(自主基準)を設定しています。放射線にはこれ以下なら安全という「しきい値」がないので、基準以下であっても、放射能低減を追求します。検査の結果、自主基準を超えるものについては供給いたしません。また、独自ガイドラインは継続的に見直しを行いません

自主基準(独自ガイドライン)(セシウム 134, 137 の合計)			国の規格基準	
2014年10月より現行基準	現	旧		
水、飲料茶、牛乳、乳幼児用食品	10	10	水、飲料茶 10 乳幼児用食品、牛乳 50	
飲料、乳製品、米			一般食品 100	
青果類(きのこ類除く)、肉類、卵、魚介類、その他食品、きのこ類(しいたけ除く)	25	50		
しいたけ	100	100		

*乾燥食品は生原料や摂取状態で検査します。(単位 Bq/kg)

*乳幼児用食品は「yumyum」掲載商品とインターネットの赤ちゃん推奨商品。